

八代市立幼稚園再編基本計画

～友達いっぱい 学びワクワク 笑顔キラキラ

子供の可能性を未来へつなぐ幼稚園へ～

令和6年8月
八代市教育委員会

目 次

1 計画策定にあたって	1
(1) 計画の位置付け	
(2) 本市の現状と市立幼稚園の取組	
2 再編に向けての基本的な考え方	2
(1) 目指す園の規模	
(2) 園児一人一人に応じた教育の充実	
(3) 保育所等との連携の強化と子育て支援	
(4) 市長部局との連携	
3 再編の方向性について	3
(1) 目指す園の規模など	
①幼稚園教育のニーズに基づいた園の数について	
②現在の園児数及び小学校区の未就学児数について	
(2) 園児一人一人に応じた教育の充実のために	
(3) 保育所等との連携の強化と子育て支援のために	
(4) 市長部局との連携について	
4 具体的な再編について	4～6
(1) 園の数などについて	
(2) 再編スケジュール	
(3) 再編後の幼稚園教育の充実	
①園児一人一人に応じた教育の充実	
②幼児教育センター機能の充実	
③職員体制	
(4) 中・長期を見据えた検討	
(5) 跡地等の利用	

※添付資料

・各小学校区の未就学児数

1 計画策定にあたって

(1) 計画の位置付け

この計画は、八代市の子供たちの未来のために「就学前の望ましい教育・保育環境」を実現し、地域の子育て世代への支援を目的とするために実施する八代市立幼稚園（以下「市立幼稚園」という）の再編の具体的な内容等を定めるものです。

(2) 本市の現状と市立幼稚園の取組

①出生数について

八代市における出生数は、平成27年度から令和5年度に992人から661人と年々、減少が続いている状況となっています。

②園児数について

市立幼稚園数は、平成17年の市町村合併により7園となりましたが、その後、平成24年度末に1園が廃園（龍峯幼稚園）となり、現在、6園となっています。

この市立幼稚園は、私立幼稚園とともに本市の幼児教育の発展に努めてきました。しかしながら、平成27年262人であった園児数は令和6年度には93人となり、年々減少している状況となっています。

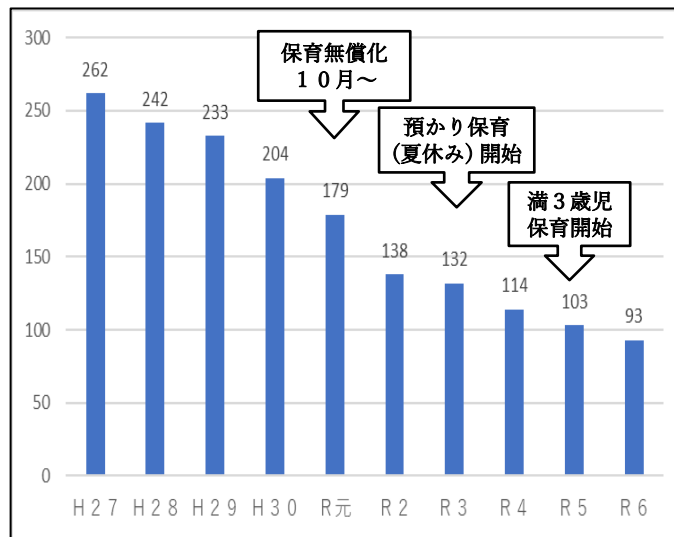
③園児数確保に向けての取組について

ここ数年、各市立幼稚園の園児数は定員を大きく割り込んでいる状況が続いています。各園が行う日々の様々な行事や活動時において、適当な規模の集団が確保できない状況では教育活動が制限されることとなり、本市が目指す幼稚園教育目標の達成に影響が出てきています。

そこで、市立幼稚園では令和元年度から「預かり保育（平日、夏季休業中）」「英語教育の実施（ALTの訪問指導）」「満3歳児保育の試行（誕生日から入園可能）」といった取組も併せて実施してきました。しかしながら、園児数増には転じず、持続可能な園経営は難しい状況になってきています。

(単位：人)

年度	市立幼稚園の(園児数)の推移	
H27	262	
H28	242	▲20
H29	233	▲9
H30	204	▲29
R 1	179	▲25
R 2	138	▲41
R 3	132	▲6
R 4	114	▲18
R 5	103	▲11
R 6	93	▲10



2 再編に向けての基本的な考え方（「八代市立幼稚園再編基本方針」より）

（1）目指す園の規模

園児数が少ないクラスでは、一人一人の園児に目が届き、きめ細かな教育を提供できる反面、園児同士が「ともに育つ機会」の減少などが懸念されます。

また、普段の教育活動に加え、運動会や生活発表会などの園行事についても限られた状況での活動となり、その後、集団の規模が大きくなる小学校への就学に向けて、コミュニケーションや協調性など人と関わる力等の面で課題であると考えます。

幼稚園教育は、適当な規模の集団で行うことが望ましいとされていますが、市立幼稚園の現状は、各クラスの園児数が減少し、適当な規模が確保できていない状況です。

そこで、八代市立幼稚園規模適正化等審議会（以下「審議会」という）答申で示された人数を「幼稚園教育の目的を十分発揮するに必要な園児数・規模」として捉えます。

※審議会が示した園児数・規模

3歳児	4歳児	5歳児	1園あたり
10人程度	10～20人程度	15人～20人程度	40人以上

（2）園児一人一人に応じた教育の充実

再編により、適当な集団の規模を確保するとともに、これまで行ってきた園児一人一人にいていないに関わる、きめ細かな教育は維持していかなければなりません。

園児は、一人一人の家庭環境や生活体験が異なっており、人や事物への関わり方や環境からの刺激の受け止め方は異なってきます。それゆえ、一人一人の発達の特性を理解し、その特性等に応じた指導を行うことが大切です。

（3）保育所等との連携の強化と子育て支援

学校教育のはじまりとしての幼稚園教育で、幼・保等、小、中連携の体制を構築して子供の発達や学びをつなぎ、小学校以降の生活や学習の基盤をつくります。

また、幼稚園・保育所等の施設類型の違いを越えて、就学前教育の質の向上を図るとともに、子供とその保護者を広く支援し、子育て相談、特別な配慮を要する園児に対する支援の充実、保護者同士の交流など、幼稚園と家庭が一体となって園児と関わる取組を進め、地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たしていきます。

（4）市長部局との連携

就学前教育・保育の一体的充実を図るため、市長部局（保育所等所管部）と連携しながら、市立幼稚園・保育所等の統合による認定こども園の必要性を含めて検討していきます。

本市が目指す幼稚園教育が推進できるよう、子供たちにとって望ましい教育環境の確保に向けて、上記の点を踏まえながら、子供ファーストの視点で、全市的な再編について検討を進めます。

3 再編の方向性について

再編に向けての基本的な考え方を踏まえ、次のような方向性で再編を進めます。

(1) 目指す園の規模など

①幼稚園教育のニーズに基づいた園の数について

八代市立幼稚園再編基本方針において示されたように、本市の幼稚園教育のニーズは、一定数（7.0%前後）あることがわかりました。

また、審議会答申の中で、園の規模については、「1園あたり40人以上」の人数が望ましいとされており、これらのことを踏まえ再編後の園の数については、令和5年度の園児数103人と令和6年度の園児数93人（ともに5月1日現在）より判断します。

・令和5年度園児数	103人	÷	40人以上	≒	2.58園
・令和6年度園児数	93人	÷	40人以上	≒	2.33園

②現在の園児数及び小学校区の未就学児数について

各市立幼稚園の園児は、園所在の小学校区から通園している場合が多く、現在の在園児数（下表）や各小学校区の未就学児数（P7添付資料）は、再編での大きな視点の一つと考えます。

在園児数は太田郷と松高、小学校区の未就学児数は太田郷、松高、八千把校区などが多い状況です。

令和5・6年度の各園の園児数（両年度とも5月1日現在）

	代陽	太田郷	植柳	麦島	松高	千丁	合計
R5	17	24	17	12	21	12	103
R6	9	31	10	10	20	13	93

(2) 園児一人一人に応じた教育の充実のために

再編により幼稚園の集団の規模が大きくなっても、これまで行ってきた園児一人一人へのきめ細かな教育を維持するために、園児に関わる職員を増やすなど、職員体制を充実させます。

(3) 保育所等との連携の強化と子育て支援のために

再編後も保育所等との連携の強化や子育て支援を充実させるために、保育所等との連携を中心に行う担当者や子育て相談の窓口となる担当者を位置付けます。

(4) 市長部局との連携について

本市では現在、公私立の就学前教育・保育施設で園児の受入れが可能な状況にあり、待機児童はいません。今後も出生数が減少傾向にあることから、待機児童発生の可能性は低いと考えられます。

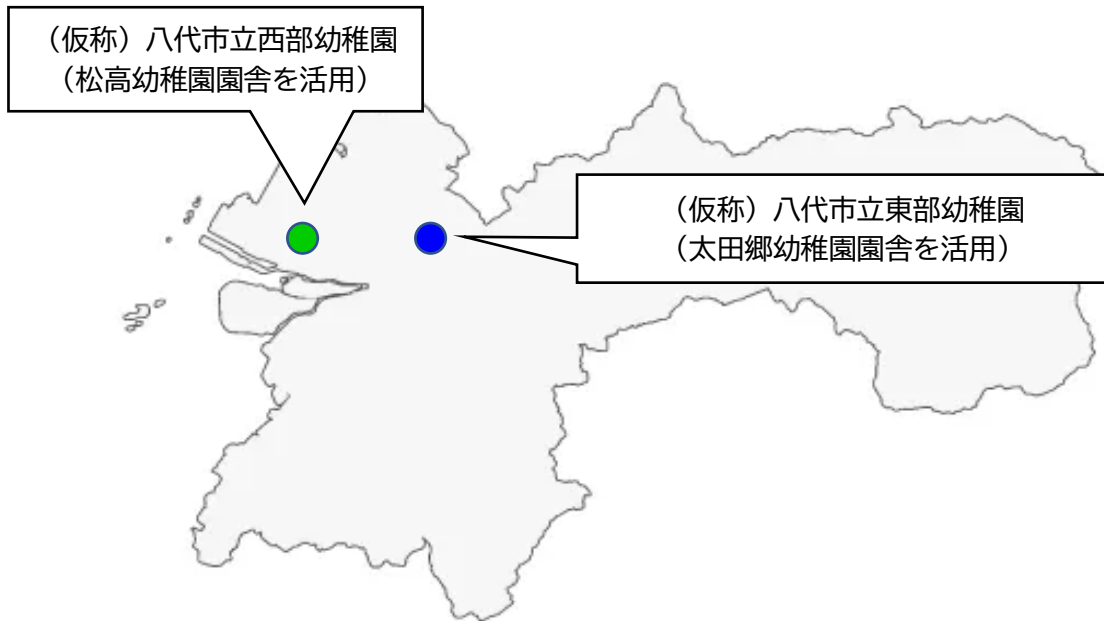
また、私立の認定こども園が5園あることから、市長部局（保育所等所管部）と協議を重ねた結果、市立幼稚園の再編において、現時点では、認定こども園設立の必要性は低いと考えますが、今後も市長部局（保育所等所管部）と就学前教育・保育の一体的充実について連携を図っていきます。

4 具体的な再編について

(1) 園の数などについて

現在、6園ある市立幼稚園を在園児数などを考慮し、市の東部と西部の2園に再編します。

また、その2園は現在の在園児数、園所在の小校区の未就学児数などから総合的に判断して、現在の太田郷と松高の既存の幼稚園園舎を活用します。



(2) 再編スケジュール

市立幼稚園6園は、令和7年度末（令和8年3月31日）にすべて閉園とします。

そして、令和8年度（令和8年4月1日から）に、（仮称）東部幼稚園と（仮称）西部幼稚園の2園を開園します。

また、園児募集については令和7年度分（令和6年11月から）は、6園すべてにおいて行いますが、令和8年度分（令和7年11月から）は、（仮称）東部幼稚園と（仮称）西部幼稚園の2園においてのみ行います。

現在6園	R8. 3/31	R8. 4/1	幼稚園2園に再編
代陽幼稚園 太田郷幼稚園 植柳幼稚園 麦島幼稚園 松高幼稚園 千丁幼稚園	閉園	⇒	開園 （仮称）八代市立東部幼稚園 （現在の太田郷幼稚園園舎を活用） （仮称）八代市立西部幼稚園 （現在の松高幼稚園園舎を活用）

(3) 再編後の幼稚園教育の充実

①園児一人一人に応じた教育の充実

園児一人一人の育ちや学びを大切にします

○担任外職員の増員

現在の市立幼稚園の職員は1園につき、園長と3・4・5歳児担任、幼稚園保育支援員と用務員の6人ですが、再編後はこれまで担任を兼務していた副園長を各クラスの支援者とし、更に新たな職種として、(仮称)子育て支援コーディネーターを配置します。

また、幼稚園保育支援員を2人に増員し、これらの担任外の教職員が必要に応じて各クラスにおいて担任とともに保育を行うことで、再編後にクラスの園児数が増えても、複数の教職員でしっかりと支援する体制を整え、園児一人一人に応じた教育を充実させます。

○満3歳児クラス担任の配置

市立幼稚園においては、令和5年度より満3歳児の受入れを始め、3歳児と同じクラスで保育を行ってきましたが、最年少となる満3歳児はあらゆる面で支援をしなければならぬことが多く、より一層充実した支援体制の構築が必要です。

そこで、再編後は新たに満3歳児担任を配置することにより、満3歳児一人一人への支援を充実させます。

○英語教育など特色ある教育の推進

グローバル社会の進展により、外国語で多様な人々とコミュニケーションを図る能力は、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定されており、小学校においても3・4年生から外国語活動が導入されました。

市立幼稚園においては、これまでALT(外国語指導助手)が月に1回程度、幼稚園を訪問し、外国語に親しむ活動などを行ってきましたが、再編後は更に訪問回数を増やし、幼児期における外国の言語や文化等への興味・関心を高める活動の充実を図ります。

また、給食活動を通じた食育や言葉の教室等をはじめとした園児一人一人に応じた特別な支援を充実させるなど、特色ある教育を推進していきます。

②幼児教育センター的機能の充実

質の高い幼児教育を推進します

○保育所等との連携の強化

副園長は各クラスの支援に加え、幼児教育アドバイザーとして職員の人材育成や保育所等との連携を強化する担当として位置付けます。

このことにより、これまで幼稚園が培ってきた研究や実践の成果を発信するとともに、保育所等の優れた特色ある実践の情報を収集、発信することで八代市全体の就学前教育の充実を図ります。

○小・中学校との連携・接続

市立幼稚園はこれまで近隣の小・中学校と子供同士の交流や教職員同士の相互理解や合同研修等を行って連携を深めてきました。

再編後も小・中学校との連携体制を更に強化し、子供の育ちや学びをつなぐことを通して、学校教育の始まりとしての幼稚園教育において、小学校以降の生活や学習の基盤をつくります。

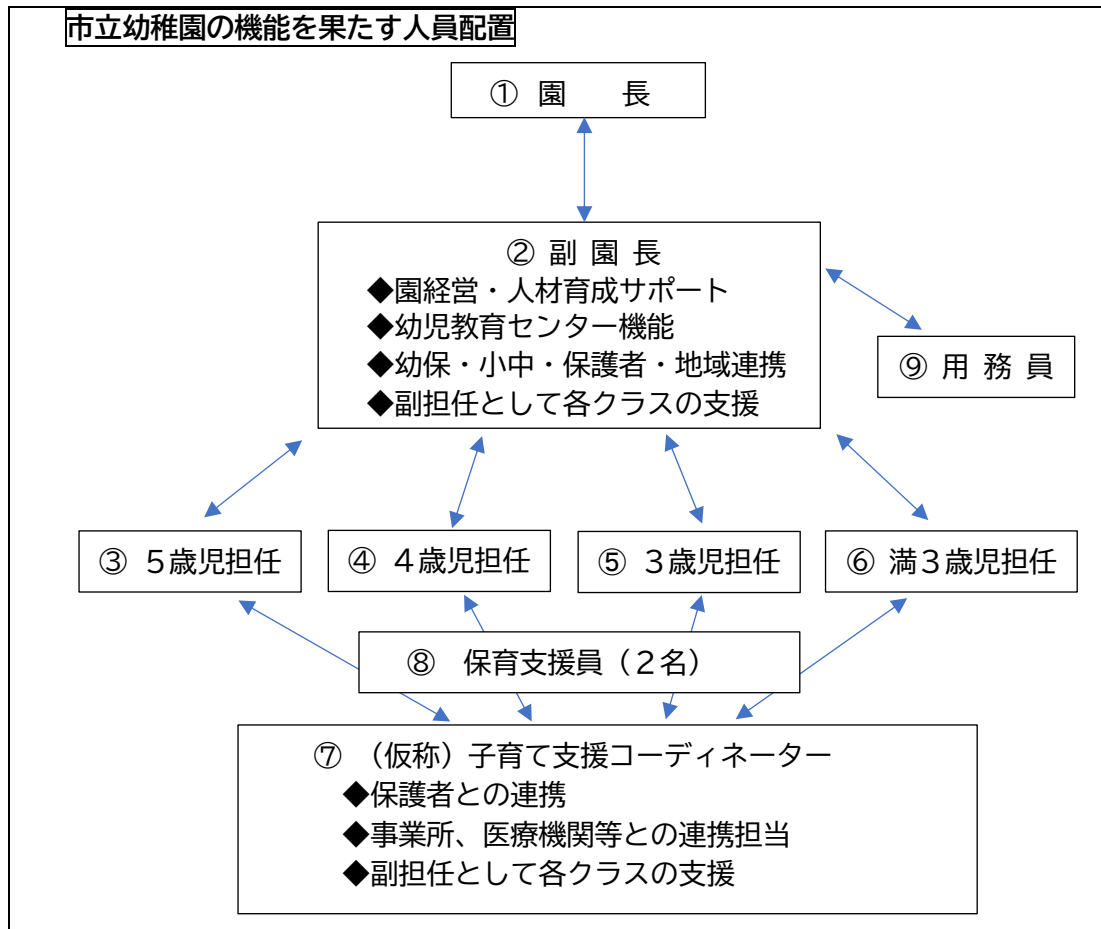
○子育て支援の充実

子育て支援コーディネーターを新たに配置し、担任と一緒にあって配慮が必要な園児等を中心に支援を行うとともに、保護者の子育て相談の窓口となったり、事業所や医療機関との連携を図ったりする役割を担うなど、子育て支援を充実させます。

さらに、預かり保育については週5日間の実施と夏季休業日における実施日数の増加について、園児への負担等を考慮しながら検討します。

③職員体制

再編後、更なる幼稚園教育の充実のため、次の表に示す職員体制を整備します。



(4) 中・長期を見据えた検討

この計画で再編を進めますが、在園児数の変動や社会情勢の変化は十分に予想されません。

今後も、在園児数の状況等によっては、更なる再編の対象として検討します。

(5) 跡地等の利用

閉園後の跡地及び施設については、市長部局の関係部署と連携を図りながら、地域の要望も踏まえたうえで、公的な子ども関連の施設や民間への売却、貸付など、有効な活用を検討します。

～ 添付資料 ～

各小学校区の未就学児数						
年齢はR7年3月31日現在						
学校名	年齢					総計
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
代陽小学校	33	45	24	45	54	201
八代小学校	20	21	28	15	24	108
太田郷小学校	112	115	108	133	126	594
植柳小学校	18	18	25	22	28	111
松高小学校	65	63	78	93	77	376
金剛小学校	6	12	5	14	10	47
金剛小学校（弥次分校）	15	9	12	19	14	69
高田小学校	61	49	58	61	57	286
八千把小学校	103	132	141	147	131	654
郡築小学校	25	32	31	21	23	132
宮地小学校	12	17	19	21	16	85
日奈久小学校	4	3	6	7	8	28
昭和小学校	7	8	8	7	5	35
二見小学校	1	1	1	2	4	9
龍峯小学校	4	5	8	8	6	31
麦島小学校	42	34	46	56	36	214
八竜小学校	2	1	2	2	3	10
千丁小学校	66	47	63	72	62	310
鏡小学校	35	40	44	54	49	222
有佐小学校	11	14	10	14	11	60
文政小学校	16	28	28	29	35	136
東陽小学校	3	8	8	8	10	37
泉小学校	0	1	1	0	4	6
泉第八小学校	0	1	1	0	0	2
総計	661	704	755	850	793	3763